

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37・38	認知症の進行により、自己発言が少なく、意思疎通が難しくなっている。入居者個々のレベルが違うため、入居者それぞれに合った援助をしているが、不十分と思われる。	入居者個々に合った最適な介護を提供し、その人らしく、楽しく過ごせるように援助する。	入居者と積極的に話をして、コミュニケーションを図り、言動や行動をよく観察する。また、職員間の連携を密にして、入居者が何を望んでいるのか、また、何が必要なのかを、行動一覧表や連絡ノートを活用し、把握しながら援助にあたる。	6か月
2	49	コロナウイルスの影響で、ほとんど外出の機会がない状況である。	外出の機会を増やし、入居者の気分転換を図る。	花見や紅葉狩り、敬老会への参加、祭りの見学等を計画し、外出の機会を作る。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。